

Sotto出前研修

たんぽぽ

Sotto出前研修「たんぽぽ」の目的

Concept

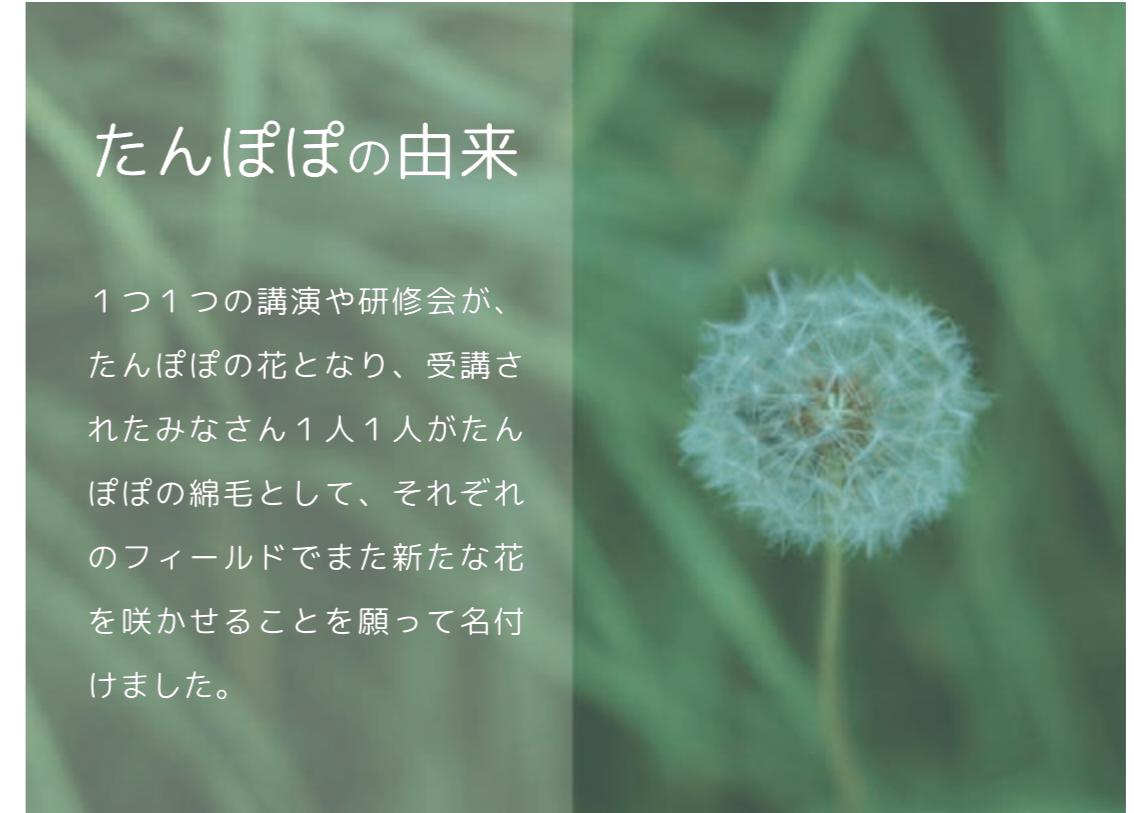
Sottoは「死にたい」「大切な人を自死で亡くした」といった自死の苦悩を抱えた方の心の居場所づくりを目的として活動しています。わたしたちが居場所づくりにおいて最も重要だと考えているのが、そこに居る〈ひと〉です。ですから、心の居場所にふさわしい〈ひと〉を育成するボランティア養成講座を毎年開催し、活動するボランティアには定期的な研修の場を提供しています。これまでに様々な講座を開講してきた結果として、電話相談、メール相談、語り合う会、おでんの会など、多様な窓口を開設することができ、また、それぞれの窓口の利用者も増えていることは、〈ひと〉が育ってきている一つの証左と言えます。

わたしたちのボランティア養成の経験は、だれかの支えになりたいと思っている多くの方々に、何らかの有意義な気づきを提供できるのではないかと考えています。そこで〈Sotto出前研修〉を提案することにしました。具体的には、対人援助の方法論や実際の相談経験などをスピーチする〈講演型〉と、Sottoの研修カリキュラムを応用して依頼団体の目的と目標に添う研修カリキュラムをデザインする〈オーダーメイド型〉の二通りの研修を提供することができます。

〈Sotto出前研修〉を通して、より多くの人に対人援助の具体的な方法論を知っていただくことにより、自死の苦悩を抱えた方と適切な関わりができる〈ひと〉が増え、一人でも多くの自死の苦悩を抱えた方々の苦悩が少しでも和らぐことにつながるのではないかと期待しています。そして、自死の苦悩はもちろん、どのような苦悩を抱えていたとしても、誰もが安心して歩むことのできる社会の実現に貢献していくければと思っています。

たんぽぽの由来

1つ1つの講演や研修会が、たんぽぽの花となり、受講されたみなさん1人1人がたんぽぽの綿毛として、それぞれのフィールドでまた新たな花を咲かせることを願って名付けました。



Contents

講演型

オーダーメイド型

お問合わせ、お申込みについて

講演型

【自死の苦悩について】

なぜ「死にたい」気持ちになるのか？「死にたい」気持ちはどうすれば和らぐのか？大切な人を自死で亡くすとどんな気持ちになるのか？喪失による苦悩はどうすれば和らぐのか？

Sottoの相談窓口へは、「もう限界。死ぬしかない。生きる意味がわからない。消えてしまいたい。なんで生きなきゃいけないの」といった気持ちが届きます。そして相談してこられる多くの方々は、誰も自分の本当の気持ちを分かってくれる相手がないという大きな孤独感を抱えています。わたしたちは、そうした方々の心にどこまでも関わりつづけ、少しでもその孤独感が和らぐように、日々、努めています。

こうした相談経験から見えてきた「死にたい」「大切な人を自死で亡くした」という自死の苦悩を抱える方の実状と、その苦悩が和らぐ関わり方の方法論について、お伝えします。

【聴くことについて】

いわゆる〈聴く〉という行為は、わたしたちが日常的にする行為なのですが、よくよく見つめ直してみると、その内実は、実に多様なあり方をしています。人と関わる際の最も重要な行為の一つである〈聴く〉ことについて、改めて考えてみるきっかけを提供します。また、Sottoの活動の中心にもやはり〈聴く〉という行為があります。大きな苦悩を抱えた方の話を〈聴く〉ということについて、Sottoの基本姿勢と具体的な方法論について、お伝えします。



講師は内容・テーマによって、相談の上、選定いたします。日程によっては、ご希望の講師が出講できない場合もありますので、ご了承ください。講師陣は最後のページに紹介しています。

オーダーメイド型

オーダーメイド型の研修で用いるのは、体験学習法です。「良い話を聞いた」だけでは終わらせず、自身の経験として蓄積し、次の「行動」につながる研修を提供することができます。また、体験学習の場は、実際の現場とは違い、失敗を恐れることなく様々な可能性にチャレンジすることで多くの〈気づき〉を得ることができます。具体的な活動を念頭に置いたオリジナルの研修カリキュラムを実施することで、実践へ役立つ具体的な力を身につけることに役立ちます。

事前の念入りな打合せを通して、「何を目的に、どこをめざすのか」、研修実施の根っこから議論を重ね、「具体的に期待する効果は何なのか」を明確にした上で研修をデザインします。研修時間は、貴団体の要望にあわせて、数時間、半日、一日、数日間など、対応可能です。講師やスタッフの人数などもプログラムにあわせてご提案いたします。



参加者の感想

普段の生活では、悩んでいる人に心を向けて想像すること、ほとんどなかったなあと気がついた。

死にたいほどの悩みを抱えている人が何に苦しんでいるのか。それは「わかってもらえない」孤独によるものだと実感できた。

ロールプレイは恥ずかしさもあったが、心の触れ合いを感じられた時に、本当にあたたかな気持ちになることができた。

お申込みの流れ

講演型

1 申込み・問合せ

電話、FAX、インターネットでお問合せください。

2 内容など調整

電話やFAX、メールなどで、ご希望の講演テーマ、日程、予算、人数などをヒアリングさせていただきます。

オーダーメイド型

1 申込み・問合せ

電話、FAX、インターネットでお問合せください。

2 担当者訪問

ご希望の研修内容、日程、予算、人数などをヒアリングさせていただきます。※当相談センター事務局までお問い合わせいただいても構いません

3 カリキュラム案作成

ご要望に応じた研修プランを講師とともに作成し、数パターンを提案いたします。

4 研修の実施

御社の課題に合わせた研修を実施させていただきます。

5 フォロー

アンケートなどを通して、当初設定していた成果目標を達成できているかを振り返ります。ご要望があれば、研修実施以降の具体的なお手伝いもさせていただきます。

費用

講演型とオーダーメイド型
ともに要相談

チラシデザイン

ご要望があれば、Sotto専属デザイナーがチラシなどの広報ツールに関してもご提案いたします。

過去の実績（抜粋）2010年から2014年まで

石川教区布教団／いのちの根のつどい／新湊組／浄土真宗本願寺派／員弁組／龍谷大学教育学合同研究室／いのちを守る行動ネットワーク／ビハーラ奈良／龍谷大学文学部／京都教区布教団／ビハーラ兵庫／龍川組仏教講習会／知恩院NPOセンター／山陰教区研修会／員弁組同朋研修会／曹洞宗総合研究センター／山陰教区同朋運動推進／日本キリスト教協議会研究会／京都女子大学人権教育研修会／自死遺族権利擁護研究会／滋賀教区犬上南組寺族婦人会／大阪府こころの健康総合センター／ビハーラ鳥取／豊中市パーソナル・サポート運営協議会／災害被災者支援ネットワーク・富山／本派社会福祉推進協議会岐阜教区支部／上智大学グリーフケア研究所修了生の会／湖南広域消防局／兵庫教区教務所／ビハーラ奈良／京都府府税事務所／吳竹組御同朋の社会をめざす運動推進委員会／京都市／下京こころのふれあいネットワーク推進委員会／京都教区教務所／岐阜教区教務所／兵庫教区阪神東組／大阪成蹊女子高等学校／四州教区キッズサンガアドバイザー・サポート・香川ブロック／京都府中丹広域振興局／認定NPO法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター／

講師紹介



竹本了悟
代表、相談員。



吉田典生
副代表。



金子宗孝
事務局長、ファンドレイジング委員長、相談員。



野呂靖
理事。



廣谷ゆみ子
相談委員長、相談員。



中西正導
広報委員長、相談員。



安部智海
相談員。



霍野廣由
居場所づくり委員長、相談員。



長嶋蓮慧
メール相談委員長、相談員。

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター

〒600-8349 京都市下京区塙町92

TEL 075-365-1600 FAX 075-365-1601 MAIL so-dan@kyoto-jsc.jp
URL <http://www.kyoto-jsc.jp>